

## 松本重太郎賞決定！

シンガポール出身 ジョーイ ホー ニハイさん  
～京丹後の溢れる豊かさを活かして世界にエールを～

令和5年11月22日  
京丹後市

京丹後の魅力発信や課題解決をテーマに、ビジネスアイデアコンテスト「京丹後発！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2023」を次のとおり開催し、松本重太郎賞を決定しました。この取り組みは本市での起業・創業、また、新産業の創出につなげていくための実践型プログラムの一環として実施し、今年度で3回目の開催となります。

### 京丹後発！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2023

- ・開催日 令和5年11月16日（木）
- ・場 所 丹後地域地場産業振興センター（アミティ丹後）多目的ホール
- ・対 象 全国の起業家
- ・後 援 経済産業省近畿経済産業局、デジタル庁

#### ・審査員

江成 道子氏（一般社団法人日本シングルマザー支援協会 代表理事）

行待 佳平氏（京丹後市商工会 会長）

池田 香代子氏（うまし宿 とと屋 女将）

中山市長

- ・松本重太郎賞（グランプリ特典：賞金 30万円）

※この賞名は本市丹後町の生まれで、明治期から今に続くいくつもの企業の立ち上げに関わった近代日本経済の立役者 松本重太郎翁から命名しています。

#### 開催の様子



## 松本重太郎賞【グランプリ】

ジョーイ ホー ニ ハイ  
**Joey Ho Nihei さん**

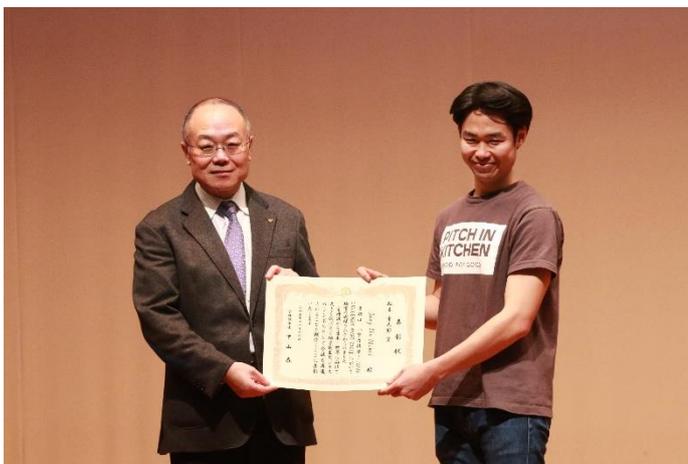
(シンガポール出身)

「京丹後の溢れる豊かさを活かして世界にエールを」というテーマのもと、貧困やSDG s など社会課題に対して、京丹後市の豊富な食資源や食品ロスとなる食材を活用し、様々な国の料理を提供するレストランを創業するなど、食を中心とした事業による社会課題の解決に向けた取り組みを提案。



### 審査員コメント

- ◆京丹後市の海や山、伝統など様々な魅力を広くつなげてもらい、日本だけでなく世界からも訪問してもらえるような取り組みにしてもらいたい。  
平和や食品ロスなどの社会課題の解決に取り組む事業として、課題を宝に変えていけることができれば、持続可能な事業につながると感じた。
- ◆いろいろな方に京丹後市を訪問してもらっているが、インバウンドの方に京丹後の魅力を発信しきれていないということが実情としてある中で、京丹後市の魅力発信につながる取り組みだと思うので、ぜひ頑張ってもらいたい。



賞状を受け取るジョーイさん（写真右）



ジョーイさん発表スライド（抜粋）

※グランプリ以外の発表者については「別紙 1」参照

### 【問い合わせ先】

京丹後市商工観光部商工振興課(担当:山崎)  
TEL 0772-69-0440/FAX 0772-72-2030

## 山岡 怜亜さん（出身：京丹後市）

「ONE TEAM～若者の力で京丹後を全国に～」

京丹後市の知られていない魅力を若者の力で全国に PR することを目的に、法人を立ち上げ、京丹後市の魅力を集めたツアーやイベントのプランナーとしての事業を提案

## 坂中 綾香さん（出身：京都市）

「3つの「ミ」からつなぐ防災アクション」

防災士の資格を持ち、防災ママサークル「ままもりっこ」を立ち上げ、令和4年9月から活動開始。丹後ちりめんなどを活用した防災グッズの制作など防災と京丹後市の魅力を合わせた防災ビジネスの提案

## 田家 裕樹さん（出身：京丹後市）

「京丹後で自分なりの起業から広める」

京丹後市の資源を生かして、海鮮を中心とした煎餅屋を開業。新たな観光場所として、見学や体験ができるような煎餅工場を作るなどの事業を提案

## 西俣 成香さん（出身：京丹後市）

「今から考える、若者の未来への健康」

過去の自身の経験や管理栄養士として特定保健指導を行った経験から、高校生など若者に向けた食についての健康指導を行う仕組みづくりを提案

## 久嶋 眸さん（出身：神奈川県）

「まちの記録係、情報のハブになる「丹後経済新聞」をつくる」

Webメディア「丹後経済新聞」をつくり、丹後のイマ・ヒト・ムーブメントに焦点を当て、毎日地域のハッピーなニュースを掲載することで、丹後地域の情報発信の中心となる事業を提案

## 野口 加奈恵さん（出身：福岡県）

「京丹後自慢！ 地域をつなぐ量り売り移動販売」

京丹後市の資源を有効活用し、ごみの削減、食品ロスなど SDG s の取組や生産者の販路開拓、買い物難民の方への支援などに取り組む量り売り移動販売事業を提案

## 【特別発表（審査対象外）】

### 京都府立丹後緑風高等学校

「京丹後市の魅力掘り起こし隊」

京丹後市の魅力を高校生が発信していく、「TANGO 未来プロジェクト」の提案。企業と高校生が連携し、京丹後市の魅力を発信するために、琴引の塩を使ったアイスクャンディーなど新たな商品づくりを行った成果の発表。